

# 西尾市事務評価シート

事務No.	47-022	事務内容	市民協働ガイド				
総合計画施策コード	3--		事務開始年度	平成25年度		担当課名	生涯学習課
予算科目	10款	05項	01目	大事業	01		
事務事業名 (中事業名)	人件費 ( 一般職員 ( 1 1 人 ) )						

## 事務の概要

### ●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市民の幅広い意見などを市政に反映させ、市民と行政との協働によるまちづくりを推進することを目的とする。
事務の対象 (誰(何)のために)	西尾市民
事務の概要 (具体的に何を)	市職員が部局で割り振られた担当地域を訪問し、市政の広報を行うとともに、市民の要望・質問等を伺い、市政に反映していく。

### ●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費 ①	0円	0円	0円
人 工	0.1人	0.1人	0.0人
人 件 費 ②	707,298円	710,461円	0円
総事務費③(①+②)	707,298円	710,461円	0円
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	707,298円	710,461円
	その他( )	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	3,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.45%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額
	なし		

### ●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	生涯学習課職員の実施回数(団体数)					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	ガイドで出た市政全般の意見・質問・要望等の件数(2回実施した合計)					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
	353,649円		355,230円		0円		

●事業の終期

事務No. 47-022

事務の終了時期	平成29年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	2	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	3		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	2	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはなく、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	2		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	市の重点施策のいくつかを市民に説明し、ご意見等をお聞きする機会として必要な事務ではあるが、他課の事業を説明するため、勉強にはなるが、質問されてもその場で答えられないことが多い。					
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。				
	(理由)	平成29年度末で事業を廃止。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性						
事務全体の課題	他課の事業に関する質問等にはその場で答えられないことが多く、後日文書での回答となる。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	西尾市独自の事業
---------------	----------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	市の職員が市政の取り組みを話す場として、生涯学習出前講座がある。出前講座はご要望のメニューに応じて担当職員が出向くので、質問にも即答できるので、これを市民に利用していただければと思う。
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	他課の事務を調査し、類似する事務を廃止することは評価できます。
----------	---------------------------------

# 西尾市事務評価シート

事務No.	47-040	事務内容	視聴覚関係				
総合計画施策コード	---	事務開始年度	平成22年度		担当課名	生涯学習課	
予算科目	10款	05項	01目	大事業	01	中事業	99
事務事業名 (中事業名)	人件費 ( 一般職員 ( 1 1 人 ) )						

## 事務の概要

### ●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	教育委員会が保有する視聴覚機材・教材（以下単に「機材・教材」という。）の貸出しについて定めることにより、学校教育及び社会教育における視聴覚教育の進展に資することを目的とする。
事務の対象 (誰(何)のために)	市内の学校教育団体、社会教育団体その他教育委員会が適当と認めるもの
事務の概要 (具体的に何を)	機材（プロジェクター）の貸出し

### ●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費 ①	0円	0円	0円	
人 工	0.0人	0.0人	0.0人	
人 件 費 ②	0円	0円	0円	
総事務費③(①+②)	0円	0円	0円	
総 財 源 内 訳 ③ の	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	0円	0円	
	その他( )	0円	0円	
H29 総事務費③の対前年度差額	0円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要		金 額
	なし			

### ●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		0円		0円		0円	

●事業の終期

事務No. 47-040

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	機材（プロジェクター）の貸出しの希望があり、直ぐには終了できない。機材が使える間は利用者の要望に応えたい。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	3	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	0		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	貸出希望があり、一定の要望がある間は事業を続けるべきと考える。貸し出す相手のほとんどが、公民館・ふれあいセンターの貸室の利用者である。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	機器が古く故障した場合、修理ができない。また、機器更新にも費用が発生するため、使用できなくなった時点で業務を廃止する方向で検討する。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	指定管理者が管理する施設においては、視聴覚機材の貸出しも指定管理者が行っている。（西尾市の公民館・ふれあいセンター15館のうち4館が指定管理）					
事務全体の課題	機器が古いものは故障した場合修理ができない。機器更新にも費用が発生する。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	事務の終期を機器に依存することなく、明確な目標をもって事務の継続又は廃止を検討していただきたい。
----------	--

西尾市事務評価シート

事務No.	47-043	事務内容	女性の会、女性教育関係				
総合計画施策コード	361		事務開始年度	昭和62年度		担当課名	生涯学習課
予算科目	10款	05項	01目	大事業	04		
事務事業名 (中事業名)	社会教育団体補助事業 ( )						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	社会教育の振興を図るため、社会教育団体が行う社会教育に関する事業の実施に要する経費に対し、予算の範囲内において交付する。
事務の対象 (誰(何)のために)	吉良町女性の会
事務の概要 (具体的に何を)	吉良町女性の会が行う、社会教育の普及、向上または奨励のための援助、助言等。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	500,000円	500,000円	475,000円	
人工	0.0人	0.0人	0.0人	
人件費②	0円	0円	0円	
総事務費③(①+②)	500,000円	500,000円	475,000円	
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	500,000円	500,000円	475,000円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	0円		H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	補助金			500,000円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標						
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標						
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	

●事業の終期

事務No. 47-043

事務の終了時期	平成30年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価		
	妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか		3	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか
ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		3	事務時間は適切なものになっているか	3		
課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		2	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	2		
有効性		事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	2
		事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	3
		事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	2
評価の総合的なコメント	各種社会教育関係団体の実施する事業は、社会教育の推進において不可欠であるため、今後も継続実施が必要である。					
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。				
	(理由)	吉良町女性の会は、社会教育関係団体であるが、新規加入者の減少や役員の後継が無く平成30年度をもって解散する予定。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性						
事務全体の課題						

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	ニーズを把握して事務を廃止することは評価できます。
----------	---------------------------

# 西尾市事務評価シート

事務No.	47-087	事務内容	吉良町公民館管理運営事業				
総合計画施策コード	332		事務開始年度	昭和49年度		担当課名	生涯学習課
予算科目	10款	05項	04目	大事業	13		
事務事業名 (中事業名)	吉良町公民館管理運営事業 ( )						

## 事務の概要

### ●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	地域住民を始めとする市民等が快適に吉良町公民館を利用することができるよう、施設の適切な運営及び維持管理を行う。
事務の対象 (誰(何)のために)	施設の利用者を始めとする地域住民及び市民等
事務の概要 (具体的に何を)	地域住民を始めとする市民が身近な学習・交流(各種サークル活動、会合等)の場として利用できるよう部屋を貸し出しているほか、生涯学習講座や公民館ふれあいの集いを施設の行事として開催。また、施設及び機械設備等の維持管理や修繕などを実施。

### ●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	22,793,309円	22,582,000円	13,848,000円	
人工	0.3人	0.1人	0.3人	
人件費②	2,121,896円	710,461円	2,156,973円	
総事務費③(①+②)	24,915,205円	23,292,461円	16,004,973円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	1,232,627円	1,322,281円	1,038,925円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	23,116,339円	21,166,694円	14,447,948円
	その他( )	566,239円	803,486円	518,100円
H29 総事務費③の対前年度差額	-1,622,744円		H29 総事務費③の対前年度比率	-6.51%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	賃金	嘱託職員2名、臨時職員1名		9,958,022円
	施設維持管理委託料	空調設備等保守点検業務、床面等清掃業務等		8,078,559円

### ●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	講座数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		43	件	62	件	36	件
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	施設利用者数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		56,773	人	53,481	人	55,000	人
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		579,423円		375,685円		444,583円	

●事業の終期

事務No. 47-087

事務の終了時期	平成30年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価	
	妥当性	有効性		効率性	公平性		
評価	妥当性	市が実施することが適当であるか	4	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	妥当性	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	4	効率性	事務時間は適切なものになっているか	4	
		課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	有効性	有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4
			事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4
			事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4
評価の総合的なコメント		施設利用の際の公平性の確保や市民ニーズを把握したうえで改善措置を考慮する等、市民目線での運営を常に心がけており、事業は概ね適正に執行されているが、施設の老朽化に伴い、年々維持管理コストの増額が懸念される。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。					
	(理由)	施設が老朽化しているため公共施設再配置実施計画により平成30年度で閉館し、31年度に建物を解体。その後、さら市民交流センターを建設する予定。					
民間委託又は市民協働拡大の方向性		契約業務等を含めた委託事業の見直しを検討する。平成31年より公共施設再配置事業により民間企業による運営を予定している。					
事務全体の課題		全ての施設において共通しているが、施設の老朽化に伴い、快適な施設環境を整備するための維持管理コストの増加が見込まれる。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	近隣市町においても公民館施設の管理運営事業を実施している。
---------------	-------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	民間企業の運営により、従来よりも充実した事業や館運営が期待できる。
--------	-----------------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---



# 西尾市事務評価シート

事務No.	47-090	事務内容	中畑ふれあいセンター建設基本構想調査関係				
総合計画施策コード	332		事務開始年度	平成28年度		担当課名	生涯学習課
予算科目	10款	05項	01目	大事業	01		
事務事業名 (中事業名)	人件費 ( 一般職員 ( 1 1 人 ) )						

## 事務の概要

### ●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	西尾市のふれあいセンターがない中畑小学校区に地域住民を始めとする市民の生涯学習や交流の場となる同センターを整備していくための基本構想を策定する。
事務の対象 (誰(何)のために)	中畑小学校区の住民を始めとする市民
事務の概要 (具体的に何を)	市民のニーズや立地条件、施設規模、施設機能(公民館機能を中心とした多機能化)、整備及び運営形態などについて、調査・分析を行い、西尾市公共施設再配置計画との整合性を図りながら整備に向けての基本構想を策定する。

### ●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費 ①	3,693,600円	0円	0円
人 工	0.2人	0.1人	0.1人
人 件 費 ②	1,414,597円	710,461円	718,991円
総事務費③(①+②)	5,108,197円	710,461円	718,991円
総 財 源 内 訳 ③ の	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	5,108,197円	710,461円
	その他( )	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-4,397,736円	H29 総事務費③の対前年度比率	-86.09%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	中畑ふれあいセンター建設基本構想調査は平成28年度に業務委託して実施したため。29年度以降は構想について、関係機関と調整したり、見直したりしており、事務費の支出はない。		
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額
	なし		

### ●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	校区の代表者等への説明回数(町内会長、学校等)					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		0 回		2 回		3 回	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	校区団体からの質問件数(市民協働ガイド、市政懇談会等)					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		0 件		3 件		0 件	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		0円		355,230円		239,664円	

●事業の終期

事務No. 47-090

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	(仮称)中畑ふれあいセンターの整備はまだ、これからの事業であるため。用地の確保ができず、現在、必要経費の予算計上に至っていない。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	スコア		内容	スコア	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	1	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	西尾市の西北に位置する中畑小学校区にふれあいセンターができれば、市全体でバランスよく配置されることになり、市民サービスの面で公平になる。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を拡大する。				
	(理由)	現在、候補地として中畑小学校の敷地内を考慮しており、整備にあたり小学校関係者や校区町内会代表者等との調整が必要。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	基本構想調査業務は業者委託して実施。整備を考えていく際には、地域住民の意見も聞く必要がある。					
事務全体の課題	中畑小学校区には公共施設が小学校しかなく、新たな公共施設の建設を計画した場合、施設の保有総量の抑制を図るものとする公共施設再配置の基本方針に合わせにくいところがある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	T市の交流館で中学校と合築のところがある。K町の公民館は中学校の体育館との複合施設である。
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	施設の複合化により事業費が抑制できる仕方を検討して整理することが必要。
-----------------	-------------------------------------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	整備する施設は複合化（公民館＋例えば児童も使える施設）を考え、地域の方のご意見も参考にし、多くの方が利用できるものを考えていきます。
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---